

THE ROTARY FOUNDATION

2010年1月

2011-12年度シェアを通じてのロータリー財団プログラムへの参加について

2009-10年度地区ガバナー各位

拝啓



シェアを通じて、地区は、地区財団活動資金(DDF)を使用してどのロータリー財団のプログラムに参加するかを選択することができます。このシェア・パッケージの目的は、2011-12ロータリー年度に資金をどのように使用するかを計画する上で、地区に役立てていただくことです。

ロータリー財団章典に基づき、地区レベルでのシェアの計画においては、地区ロータリー財団委員会(地区ガバナー、地区ロータリー財団委員長、小委員会委員長により構成)が責任を持ちます。シェア・パッケージは現ガバナーに送られましたが、地区ロータリー財団委員会が決定する事項は、地区ガバナー・ノミニーにも影響を及ぼすこととなります。

2011-12年度地区財団活動資金(DDF)の使用計画の一助としていただくために、以下の資料を同封いたしましたのでご確認ください。

1. シェア・パッケージに関する説明
2. シェア・パッケージ受理確認書式
3. シェア・システム報告書
4. シェア DDF オプション一覧
5. 試験地区と非試験地区との協力について
6. 教育的プログラム寄贈書式
7. ロータリー財団共同基金寄贈書式
8. シェア・ワークシート

2011-12年度、貴地区は、従来のロータリー財団補助金構成に沿ってプログラム活動を続けることとなります。未来の夢試験地区と協力して実施するプロジェクトについてご質問がありましたら、「試験地区と非試験地区の協力について」の資料をご参照いただくか、futurevision@rotary.orgまでお問い合わせください。

シェアの計画にあたり、ロータリー財団地域コーディネーターも情報を提供することができます。担当の財団地域コーディネーターにも上記の資料が送られておりますので、シェアを十分活用するためにも、ぜひ財団地域コーディネーターにご相談ください。

敬具

A handwritten signature in black ink, appearing to read 'Steve Lyons'.

Steve Lyons(スティーブ・ライオンズ)

SHARE System Senior Coordinator(シェア・システム・シニア・コーディネーター)

電話: 1-847-866-3362、ファックス: 1-847-556-2129もしくは 1-847-424-5381

Eメール: steve.lyons@rotary.org

同文写送付先: 2010-11年度地区ガバナー

2009-10年度地区ロータリー財団委員会委員長

ロータリー財団地域コーディネーター

One Rotary Center
1560 Sherman Avenue
Evanston, Illinois
60201-3698 USA
TEL 847.866.3000
FAX 847.328.8554
www.rotary.org

2011-12 年度シェア・パッケージ

説明

シェア・パッケージの使い方

このパッケージに収められた資料は、地区が DDF の使用を計画する上で一助となるツールです。最も重要な資料は、2011-12 年度に実施されるプロジェクトに使用できる DDF 額が表示されているシェア・システム報告書*、および管理委員会承認の DDF オプションを記載したシェア DDF オプション一覧です。次回、2011-12 年度シェア・システム報告書が地区に送られるのは、2010-11 年度の繰越額が報告された後の 2011 年 8 月となる予定です。それまでの間にシェアに関する情報をご希望の場合は、シェア・コーディネーターにお問い合わせください。国際親善奨学金、平和フェローシップ、研究グループ交換、地区補助金など財団プログラムへの申請に関する情報は、それぞれの担当部門から別途郵送される予定となっております。

財団に返送していただくもの

シェア・パッケージの中には、財団に返送していただく書式が 3 つあります。受理確認書式(必須)と 2 つの寄贈書式(任意)^です。DDF の配分額をシェア・システムに記録しなくなりましたので、配分ワークシートを財団に返送する必要はありません。DDF の支出は、プログラムへの申請が承認された時点で記録されます。地区には、独自に DDF の使用状況を記録管理していただくとともに、必要な場合には、シェア・コーディネーターからシェア使用状況報告書を取り寄せることで随時 DDF 残高をご確認いただけます。

重要な期日

2010 年 1 月	<input type="checkbox"/> 2011-12 年度シェア・パッケージが地区に送られる
2010 年 2 月	<input type="checkbox"/> 2011-12 年度の DDF の配分を、地区ロータリー財団委員会が決定する
2010 年 3 月	<input type="checkbox"/> 2011-12 年度の地区ガバナーの署名済みのシェア・パッケージ受理確認書を、地区が返送する <input type="checkbox"/> 教育的プログラム寄贈書式を、地区が返送する
2010 年 8 月	<input type="checkbox"/> 2011-12 年度の地区補助金に関する情報が地区に送られる
2010 年 9 月	<input type="checkbox"/> 国際親善奨学金申請書と GSE 申請書を、地区が提出する
2011 年 3 月	<input type="checkbox"/> 2011-12 年度の地区補助金を、地区が申請する
2011 年 7 月	<input type="checkbox"/> 地区は、2011-12 年度マッチング・グラントの申請書の提出を始める
2011 年 8 月	<input type="checkbox"/> 2010-11 年度の繰越額が含まれた最新のシェア・システム報告書が地区送られる

シェア・システム報告書あるいはシェア・パッケージの内容に関してご不明な点がございましたら、右記までお問い合わせください。

Steve Lyons (スティーブ・ライオンズ)

SHARE System Senior Coordinator

(シェア・システム・シニア・コーディネーター)

電話: 1-847-866-3362、ファックス: 1-847-556-2129

もしくは 1-847-424-5381

Eメール: steve.lyons@rotary.org

* 誤りや不一致について直ちにご連絡いただかない場合には、シェア・システム報告書に記載された 2011-12 年度 DDF 残高について地区が同意したものと判断させていただきます。

^ 地区は、一度寄贈した共同基金への DDF を撤回することができません。

地区番号 _____

**2011-12 年度シェア・パッケージ
受理確認書式**

私、署名者は、2009-10 年度地区ガバナーまたは地区ロータリー財団委員長より、2011-12 年
度シェア・パッケージを受け取ったことを証します。

2011-12 年度地区ガバナー

日付

地区番号

氏名(アルファベット表記でご記入ください):

**署名の上、2010 年 3 月 31 日までに本書式をファックスもしくは郵便で下記宛に
ご返送ください。**

**Steve Lyons, *SHARE* System Senior Coordinator
ファックス:1-847-556-2129 または 1-847-424-5381
The Rotary Foundation of Rotary International
1560 Sherman Avenue
Evanston, IL 60201, USA**

貴地区の 2008-09 年度年次プログラム基金-シェア寄付金額について事務局側による記載の誤りがあった場
合のみ、シェア・システムの DDF 残高に調整が加えられることにご留意ください。

2011-12 年度シェア DDF オプション**

- **マッチング・グラントー提唱者側の負担分**: 援助国協同提唱者と協力し、地域社会の人道的ニーズに取り組むロータリー・クラブおよび地区を支援します。現在の経済悪化により、提唱者からの寄贈に上乘せる国際財団活動資金(WF)が削減されたことにご留意ください。このため、クラブや地区は、WFの代わりにDDF(地区財団活動資金)をマッチング・グラントに充てることができます。
- **地区補助金**: 地元および国際地域社会における地区の奉仕活動や人道的活動を支援します。地区補助金として使用できる最高額は、3年前の年次寄付額の50パーセントに基づいたDDFの20パーセントです。
- ***1 学年度国際親善奨学金**(米貨 26,000ドル): 2011-12 年度に、あなたの地区またはロータリーのない国の国際親善奨学生 1 名が一律米貨 26,000ドルを受領し、他のロータリー国へ 1 学年留学するプログラムです。
- ***研究グループ交換チーム**(米貨 13,000ドル): 瑕疵なき地区は、国際財団活動資金(WF)を使用して研究グループ交換を実施することができます。国際財団活動資金(WF)は、連続した 2 年間(一方のチームが 1 年度目に、他方のチームが 2 年度目に旅行)に行われる交換に対してのみ授与されます。ただし、地区は、同じプログラム年度内に双方の交換を行うために、DDF(地区財団活動資金)を配分することもできます。組み合わせられたロータリー地区の双方が、ロータリアンではないメンバー 4 名、およびロータリアンのチームリーダー 1 名で構成されるチームを互いに派遣し、受け入れるプログラムです。チームは、4~6 週間、他国におけるそれぞれの職業のあり方を視察します。GSE のための国際財団活動資金(WF)は、地区から他地区へ寄贈することができません。また地区は、GSE のための国際財団活動資金(WF)を翌年に累積することはできません。
- ***近隣国への研究グループ交換チーム**(米貨 7,000ドル): 国境を接するか、近接する国に所在する 2 地区間の交換で、正規の GSE と同じ指針で実施されます。数カ国を含む地区の場合、隣国との GSE は、国境を共有する地域間か、または近接地域間の旅行を基にした交換プログラムでなければなりません。
- ***GSE 追加チームメンバー**(米貨 3,000ドル): 両地区の地区ガバナーの書面による承認を条件として、地区は、シェアを活用し、2 名を上限とするロータリアン以外のチームメンバーを追加できます。追加チームメンバーは、すべての資格基準に適う者でなければなりません。プログラム補助金額は、チームメンバーの人数にかかわらず同額です。
- ***近隣国との GSE の追加チームメンバー**(米貨 2,000ドル): 隣国との GSE を行う地区は、両地区の地区ガバナーの書面による承認を条件として、シェアを活用し、2 名を上限とするロータリアン以外のチームメンバーを追加できます。その他の要件はすべて同じです。
- **GSE チームのオリエンテーション**(上限米貨 1,000ドル): 地区は、GSE の派遣チームのオリエンテーション・プログラムを計画し、実施するための経費を DDF で賄うことができます。
- **GSE 語学研修助成金**(金額の定めなし): これは、財団からの標準的な語学研修助成金を補足する選択肢で、米貨 1,000ドルを上限とします。

寄贈

- **ポリオ・プラス基金**: ポリオ撲滅優先国における全国予防接種日や戸別訪問のワクチン接種活動、および感染実態の監視といった撲滅活動の中でも最も重要な活動を支援するために、DDFを、ロータリーの最優先プログラムであるポリオ・プラスに寄贈する機会です。ロータリー財団は、ビル・アンド・メリンダ・ゲイツ財団より米貨3億5,500万ドルの補助金寄付を受領しました。2008-09年度、2009-10年度、2010-11年度、2011-12年度中、私たちは、ゲイツ財団の寄付額に上乗せするために2億ドルを独自に調達していくこととなります。地区からポリオ・プラスへの2011-12年度DDF寄贈は、このゲイツ財団への上乗せ金として計上されます。
- **地区から地区への寄贈**: 選択したロータリー地区に DDF を寄贈します。寄贈を受領した地区は、寄贈された DDF の用途を、利用可能ないずれのシェア選択肢からも選ぶことができます。
- **国際財団活動資金(WF)**: 国際財団活動資金(WF)は財団のプログラムを継続していくために極めて重要です。管理委員会は、国際財団活動資金を活用し、研究グループ交換、財団のマッチング・グラントの組み合わせ補助金、試験段階(パイロット)などのプログラムに使います。
- **恒久基金**: 恒久基金は、ロータリー財団が寄贈を通じて将来の緊急のニーズを確実に満たすことができるようにするものです。恒久基金へ寄贈された DDF の投資から得られた収益は、国際財団活動資金(WF)に使用されます(ロータリー・センター支援のための共同基金創設を目的とした DDF の寄贈は受け付けられません)。
- **平和および紛争解決の分野における国際問題研究のためのロータリー・センター・プログラム(ロータリー平和センター)**: 寄贈されたDDFは、毎年、全世界6カ所のロータリー・センターで学ぶために世界競争制で選出されるロータリー世界平和フェローシップ(修士課程フェローシップ最高50口、専門能力開発のための短期修了証取得プログラム最高50口まで)を支給するため、まとめて積み立てられます。ロータリー世界平和フェローは、国際関係、平和研究、紛争解決をはじめ、これらに関連する分野の修士号を取得するか、平和と紛争研究の分野における専門能力開発コースの修了証を取得するか、いずれかを選択することができます。

* (*)印が付いている DDF プログラム選択肢は、試験地区以外の地区に寄贈できます。

** 管理委員会が承認した上記のシェア DDF オプション一覧は、財団の未来の夢計画試験(パイロット)地区には該当しません。

上記のプログラムに関する追加情報は、

http://www.rotary.org/RIdocuments/ja_pdf/219ja.pdfから

2010-11 年度の「申請手続早見用引き」をご覧ください。



未来の夢計画

試験地区と非試験地区との協力について (2010-11年度より有効)

ロータリー財団の「未来の夢計画」によって導入された新しい補助金モデルによって、ロータリアンが国際的な人道的プロジェクトをはじめ、奨学生や職業研修チームの派遣といった活動に参加する方法が変わります。試験（パイロット）地区は、3年間の試験段階（2010-13ロータリー年度）中に、グローバル補助金と新地区補助金に参加し、新しい補助金モデルを検証することに同意しました。試験地区は、従来の財団プログラム（マッチング・グラント、国際親善奨学金、研究グループ交換）に参加することはできません。試験クラブや試験地区が提唱する活動には、新地区補助金とグローバル補助金を通じて財団からの支援が提供されます。

ただし、試験地区が非試験地区（試験地区ではない地区）と協力して活動することは可能です。以下の表は、財団が現補助金モデルから新しい補助金モデルへと移行する試験段階中に、試験地区と、非試験地区が協力して参加できる補助金とプログラムを説明しています。通常、協同提唱者を必要とする場合（グローバル補助金の場合）、試験クラブと地区は、ほかの試験クラブと地区とのみ協力することができますが、協同提唱者を必要としない場合（新地区補助金の場合）、試験地区とそのクラブは非試験地区と協力して活動することができます。

グローバル補助金は、試験地区間のみで利用するものであるため、非試験地区は、DDFや現金をこの補助金の下での活動資金の一部として寄贈することはできません。資金調達方法の制限を維持することが、新しいモデルの評価を行う上で不可欠となります。また、オンライン申請機能を利用できるのは、試験地区に限られるため、試験地区と非試験地区の間の協力活動の資金の支給は、新地区補助金の要件もしくは従来のプログラム要件に従って行われます。以下の表をご覧ください。

詳細はウェブサイト、(www.rotary.org/ja/fvdistrict) をご参照いただくか、Eメール (futurevision@rotary.org) でお問い合わせください。

試験地区が実施するグローバル補助金プロジェクトを支援しようとする非試験地区は、試験地区に直接DDFを寄贈することができます。寄贈されたDDFは、試験地区の裁量で、グローバル補助金プロジェクトに充当されることになります。地区から地区へのDDFの寄贈は、シェア・システム・シニア・コーディネーターのスティーブ・ライオンズ (Steve Lyons) が手配を担当しております。地区から地区へのDDF寄贈に関する詳細は、ライオンズ (steve.lyons@rotary.org) までお問い合わせください。

職業研修チーム/研究グループ交換チーム	
試験地区ができること	非試験地区ができること
グローバル補助金もしくは新地区補助金を活用して、職業研修チームをほかの試験地区に派遣する	GSEプログラムで、GSEチームを試験地区に派遣する
新地区補助金を活用して、職業研修チームを非試験地区に派遣する	GSEプログラムで、GSEチームをほかの非試験地区に派遣する
新地区補助金もしくはグローバル補助金を活用して派遣される、ほかの試験地区からの職業訓練チームを受け入れる	新地区補助金を活用して派遣される、試験地区からの職業訓練チームを受け入れる
非試験地区からのGSEチームを受け入れる	ほかの非試験地区からのGSEチームを受け入れる

奨学金/ 国際親善奨学金

試験地区ができること	非試験地区ができること
グローバル補助金もしくは新地区補助金を活用して、奨学生をほかの試験地区に派遣する	国際親善奨学金を活用して、奨学生を試験地区に派遣する
新地区補助金を活用して、奨学生を非試験地区に派遣する	国際親善奨学金を活用して、奨学生をほかの非試験地区に派遣する
新地区補助金もしくはグローバル補助金を活用して派遣される、ほかの試験地区からの奨学生を受け入れる	新地区補助金を活用して派遣される、試験地区からの奨学生を受け入れる
国際親善奨学金を活用して派遣される、非試験地区からの奨学生を受け入れる	国際親善奨学金を活用して派遣される、ほかの非試験地区からの奨学生を受け入れる

人道的プロジェクト/ マッチング・グラントと地区補助金

試験地区ができること	非試験地区ができること
グローバル補助金もしくは新地区補助金を活用して、試験地区で実施される人道的プロジェクトに資金を充てる	地区補助金を活用して、試験地区で実施される人道的プロジェクトに資金を充てる
新地区補助金を活用して、非試験地区で実施される人道的プロジェクトに資金を充てる	マッチング・グラントもしくは地区補助金を活用して、ほかの非試験地区で実施される人道的プロジェクトに資金を充てる
ほかの試験地区の新地区補助金もしくはグローバル補助金から提供された資金で、自地区内で人道的プロジェクトを実施する	試験地区の新地区補助金から提供された資金で、自地区内で人道的プロジェクトを実施する
非試験地区の地区補助金から提供された資金で、自地区内で人道的プロジェクトを実施する	ほかの非試験地区の提唱によるマッチング・グラントや地区補助金から提供された資金で、自地区内で人道的プロジェクトを実施する

留意事項：試験地区と非試験地区は、いずれも、ポリオ・プラスおよび国際問題研究のためのロータリー・センター・プログラムに参加する資格があります。

2011-12 ロータリー年度 教育的プログラム寄贈書式

寄贈する場合は、2010年3月31日までにご提出ください

寄贈地区番号 _____ **

選択肢		数	受領地区	合計額*
1	1 学年度国際親善奨学金 (奨学金 1 口につき米貨 26,000ドル)			US\$
2	当地区は、国際親善奨学金を他地区に 寄贈しません。	ここに印をつけてください <input type="checkbox"/>		

*金額は、記入済みの申請書が受理され、財団の承認を得るまで、貴地区の 2011-12 年度 DDF アカ
ウントから引かれることはありません。

承認の署名:

2011-12 年度地区ガバナーの署名 日付 地区番号

氏名(アルファベット表記)

地区ロータリー財団委員会委員長の署名 日付 地区番号

氏名(アルファベット表記)

下記宛にファックスまたは郵便でご返送ください。
Steve Lyons, SHARE System Sr. Coordinator
The Rotary Foundation of Rotary International
1560 Sherman Avenue, Evanston, IL 60201, USA
ファックス: 1-847 556-2129 または 1-847 424-5381

貴地区に留学する来訪奨学生のために奨学金を寄贈する場合、推奨する教育機関を以下に
お書きください。

**2011-12 ロータリー年度用
ロータリー財団共同基金寄付書式**

地区番号 _____

選択		金額
1	<p>ポリオ・プラス基金：ロータリーの2億ドルのチャレンジ 資金は、ポリオ撲滅優先国における全国予防接種日といったポリオ撲滅運動の中でも最も重要な活動を支援します。これには、戸別訪問のワクチン接種活動、監視活動なども含まれます。詳細は、クレア・モンロー (Clare Monroe) まで、電話 (1-847-424-5244)、ファックス (1-847-328-5260)、あるいは Eメール (clare.monroe@rotary.org) でお問い合わせください。</p> <p>ロータリー財団は、ビル・アンド・メリンダ・ゲイツ財団より米貨 3 億 5,500 万ドルの補助金を受領しました。2008-09 年度、2009-10 年度、2010-11 年度、2011-12 年度中、ロータリーは、ゲイツ財団からの寄付に上乗せするために 2 億ドルを独自に調達していくことになります。地区からポリオ・プラスへの 2011-12 年度 DDF 寄贈は、このゲイツ財団への上乗せ金として算入され、また、寄贈された DDF1 ドルに対し、国際財団活動資金 (WF) から 50 セントが上乗せされます (管理委員会が承認した DDF600 万ドルを上限とします)。</p>	US\$
2	<p>国際問題研究のためのロータリー・センター：ロータリー世界平和フェローシップ DDF は、毎年、全世界 6 カ所のロータリー・センターで学ぶために世界競争制で選出されるロータリー世界平和フェローシップ (修士課程フェローシップ最高 50 口、専門能力開発のための短期修了証取得プログラム最高 50 口まで) を支給するため、まとめて積み立てられます。ロータリー世界平和フェローは、国際関係、平和研究、紛争解決をはじめ、これらに関連する分野の修士号を取得するか、平和と紛争研究の分野における専門能力開発コースの修了証を取得するか、いずれかを選択することができます。詳細は、ジュディー・ギブソン (Judy Gibson) まで、電話 (1-847-866-3834)、ファックス (1-847-556-2141)、あるいは Eメール (judy.gibson@rotary.org) でお問い合わせください。</p> <p>この寄贈は、ロータリー・センター平和推進地区の誓約の一部として意図されたものですか (年に米貨 25,000 ドルもしくは隔年で米貨 50,000 ドルの寄付)。 <input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ</p>	US\$

承認の署名：

2011-12 年度地区ガバナーの署名 日付 地区番号

氏名 (アルファベット表記)

地区ロータリー財団委員会委員長の署名 日付 地区番号

氏名 (アルファベット表記)

下記宛にファックスまたは郵便でご返送ください。
 Steve Lyons, SHARE System Sr. Coordinator
 The Rotary Foundation of Rotary International
 1560 Sherman Avenue, Evanston, IL 60201, USA
 ファックス: 1-847-556-2129 または 1-847-424-5381

2011-12年度DDF配分

期首残高			\$0
ポリオ・プラス基金への寄付：ロータリーの2億ドルのチャレンジ			\$0
奨学金	数		\$0
国際親善奨学生(寄贈を含む)	0	\$26,000	\$0
研究グループ交換			\$0
GSE	0	\$13,000	\$0
近隣国とのGSE	0	\$7,000	\$0
GSE一分割寄贈	0	\$6,500	\$0
近隣国とのGSE一分割寄贈	0	\$3,500	\$0
追加チームメンバー	0	\$3,000	\$0
近隣国とのGSEの追加チームメンバー	0	\$2,000	\$0
チームのオリエンテーション/語学研修			\$0
地区補助金の申請			\$0
マッチング・グラント		DDF金額	\$0
(内容)			
(内容)			
(内容)			
(内容)			
寄贈			\$0
ロータリー平和センター		\$0	
(内容)		\$0	
(内容)		\$0	
合計配分額			\$0
残高			\$0